

「とことん討論会」 ワールドカフェ（KPT分析）の内容とまとめ

グループ名	D	Keep（あなたの団体の現状は）	Problem（問題や課題は何か）	Try（どう挑戦・克服するか）	まとめ（話し合った事柄）
		（会員不足）	（会員不足）	（会員の募集）	1、会員の募集
（分類） 市民参加 のはしご	④ 積極的意見 聴取	登録者数が、年々減少。	ボランティア参加に偏りがある。	若者の参加を促すようなPRを！	⇒ 活動のPRを
		イベント毎の参加者が減少し	（高齢化）		
		てきている。	ボランティアの高齢化がある。	（コミュニケーションを図る）	2、高齢化
		（意識の差）	（意識の差）	行政とボランティア側との共有	⇒ 若者の参加を促す
		上からの要求とボランティア	ボランティアの定義について	認識を持つため、定期的な話し	
		団員の意識のズレ。	理解度がまちまち。	合いの場を！	3、意識やスキルアップ
		活動に対して個人差がある。	会員の性格・持ち味が皆バラ		⇒ 研修の企画
		ボランティア活動への意欲	バラで問題が生じている。	（コーディネーターの育成）	
		も違う。	（組織・コーディネーター）	今回のようなコーディネーター	4、コミュニケーションを図る
		（コーディネーター不在）	コーディネーターがいない。	講習の機会を増やす。	⇒ 行政・財団
		元々コーディネーターと言う	コーディネーターが非正規	組織は、ボランティアコーディネ	とボランティア側
		機能・存在を知らない。	雇用で3～5年で退職する。	ネーター講習を義務付ける。	
		コーディネーターという名だ	部会をまとめる人材がいない。	ホール側とボランティア側双方	5、コーディネーターの必要性
		けで、連絡役になっている。	上の方が、組織内の人間関係	にコーディネーターが居ると	⇒ 講習を増やし育成する
		（コミュニケーション不足）	まで見てなくて辞める人が出る。	良いと思う。	
		財団とボランティア側とが	市民参加型のボランティアで	外部から独立したボランティア	
		話し合える場がない。	ある筈なのに、行政の一部門に	コーディネーターを設ける。	
		チーフとボランティアとの	所属しているという意識が強く		
		意思疎通が悪く不満がある。	ボランティア担当職員や	ボランティアをやめて、NPO	
		行政窓口の意見聴取が形だけ	コーディネーターが苦勞している。	職員を募集！	
		で、いつも「検討します」で	（コミュニケーション不足）		
		終わり全く前に進まない。	ホール側との対話の場がない。	楽しむ！楽しむことを失わない	※1 ⇒ は、今後の挑戦目標
		行政窓口のローテーション	個々の会員の意見をお互いに聞く	ように！	※2 団体名など固有名詞は割愛
		で、物事の連続性が悪い。	時間がない。		※3 文言は一部変えてます